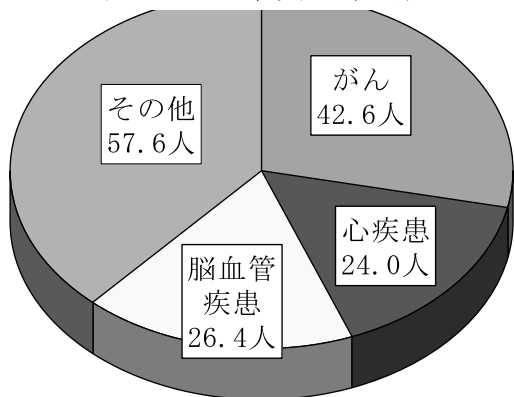


健康診断で わが身を守ろう

南部町の年間死亡者数
(H17～H21年度の平均)



南部町では毎年100人弱の方が、がん、心疾患、脳血管疾患で亡くなっていますが、これらの病気は、健康診断で早期に発見することができます。

医学の進歩に伴い、がんは予防や治療ができる病気となっています。がん検診で早期に発見し、適切な治療を施すことで、治る可能性は高くなり、再発の可能性は低くなります。自分は大丈夫だと思っておられる方も自分のため、大切なご家族のために年に一度は健診を受け、健康管理をしましょう。

- 基本健診(40歳未満の方)
- 特定健診(40歳以上74歳以下の方)
- 高齢者健診(75歳以上の方)

身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査および医師の診察を行います。南部町の方は貧血検査も行い、必要に応じて心電図も行います。

胃がんは日本人に多い

胃がんは早期に発見し、治療が早ければ早いほど治る確率は高くなります。

【胃がんリスクの高いひと】

胃の粘膜に炎症、障害を起しやすいため、高塩分食を好む。タバコを吸う。血縁に胃がんになった人がいる。

【検査方法】

胃がん検診は胃透視(バリウムを飲んでのX線撮影検査)と胃カメラ(内視鏡検査)があります。胃カメラは胃透視に比べ組織検査ができるのが大きな利点です。しかし検査に時間と手間がかかり費用も高価なため、胃炎などで胃がんが心配な方にお勧めします。(休日健診では胃カメラのみ受け付けています。)

大腸がんが増加傾向

日本での増加傾向が著しい大腸がん。早期に発見すれば完全に治すことが可能です。しかし、発見が遅れば取り除くことが困難な転移が起こり、放射線や抗がん剤による治療が必要となります。

【大腸がんリスクの高いひと】

油っこい料理が好きで野菜をあまり食べない。生活が不規則。便秘気味や下痢気味になることが多い。血縁に大腸がんになった人がいる。

【検査方法】

大腸がん検診は、検便による便潜血検査を行います。この検査により大腸がんが疑われた方には、注腸透視あるいは、内視鏡による詳細な検査を行います。(後日の検査は保険診療です。)

日本人女性が最もかかりやすい乳がん

乳がんは早期に発見し、治療を受ければ、再発の可能性は低くなります。早期発見のためには、視触診に加えマンモグラフィ(乳房専用のX線撮影)や超音波装置などの画像診断が重要です。

【乳がんリスクの高いひと】

未婚。初産年齢が30歳以上。動物性脂肪摂取が多い。成人で高身長。血縁に乳がんになった人がいる。

【検査方法】

医師による視触診と、マンモグラフィにより行います。

※がん検診は40歳以上の方が対象です。
※乳がん受検は2年に1回です。

休日健診をご利用ください

西伯病院では、休日であれば健康診断を受けることが出来ない町民の方のために、休日にも健診を行っています。健診を受けて健康づくりに役立てましょう。

なお、休日健診は予約制ですので、ご希望の方は、あらかじめ電話にて予約をお願いします。

《今後の日程》

- 9月25日(日)
- 10月16日(日)
- ※がん検診のみ
- 12月11日(日)
- ※胃がん、大腸がん検診のみ

【予約・問合せ先】
西伯病院医事課
☎66-2211